

# HSK なんれん

— 臨時号 —

昭和48年1月13日  
 第三種郵便物認可  
 HSK通巻第227号  
 1991年3月10日発行  
 毎月10日発行(1部100円)  
 編集 財団法人 北海道難病連  
 発行 北海道身体障害者団体  
 定期刊行物協会(HSK)

《 十勝支部版 》



— もくじ —

- 支部長より 1P
- 十勝支部事務所  
を開設して 2P~3P
- 事務所利用状況 . . . . . 4P
- 利用者からの声 . . . . . 5P
- 難病で負けない社会復帰で 6P~7P
- 各部会の活動状況、報告 . . . . . 8P~10P
- J P C 全国大会に参加して . . . . . 11P~12P
- 「人間として生きることの尊厳」をテーマに 13P
- 支部役員研修会に参加して . . . . . 14P~16P
- フランスベット展示会参加報告 . . . . . 17P
- 音更準備会より . . . . . 18P
- 事務局より . . . . . 19P

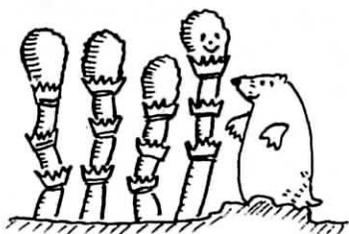
## 支部事務所を中心の活動を

釧北海道難病連十勝支部

支部長 江口 美生男

今年の冬は例年になく雪の多い季節でしたが会員、家族のみなさんはお元気でお過ごしでしょうか。

さて、難病連十勝支部今年度最後の事業の機関紙の発行の時期になりました。今年度もいろいろな事がありました。主なものは全道集会、合同レクリエーション、街頭署名、ふれあいバザーへの参加、美瑛で行われた役員研修会など。中でも今年度の一番大きな事業は福祉機器展示場を兼ねた支部事務所の開設でした。開設してから約半年になりますが、他の役員の皆さんがたのご協力で毎日事務所に詰めております。まだまだ事務所のご利用が少ないようですが、もっと会員の皆さんにご利用いただきたいと思います。例えば、患者会の会議の場所として、あるいは患者同士の打ち合わせの場所として、更に、待ち合わせの場所として（市内の中心部ですのでわかりやすく便利のいいところですよ）など、いろいろ気軽にご利用くださるようお願い致します。これからもこの支部事務所を中心に活動を展開して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



# 十勝支部事務所を開設して

副支部長 藤田 浩子

誰にも気兼ねなく、気楽に集まれる、事務所の様なものがあつたら……十勝支部の役員の中に、そんな希望が芽生えはじめ、数年の夢の様な希望が実現しました。

● 難病連本部のお力と、フランスベイトメディカルサービス株式会社の協力により、北海道難病連福祉機器事業部帯広営業所ショールーム「ふれあい帯広」として11月18日誕生、その中に十勝支部事務所を置かせていただき、営業所の仕事を十勝支部で担当する事となりました。

11月7日、本部の村山さん、藤田さん、フランスベイトメディカルサービスの岸野さんにより、福祉機器の陳列机、椅子、電話、ファクス、コピー機等の搬入をして準備OK!

オープン当日は、前日の雨も上がり、少々風はあつたけれど十勝晴れの中、1時より伊藤さんはじめ本部の関係者、報道、帯広保健所他、各方面の方々多数のご出席をいただき、開所式ののち、ショールーム見学、商品の説明などがあり、その後場所をかえ、近くのホテルでティーパーティーが開かれました。

● 祝辞、祝電、御祝をいただき、支部役員一同感謝の気持ち一杯で患者、家族そして地域の方々のために頑張ろうと、誓いを新たにしました。

福祉機器は大はベットや車イス、小はタオルおむつまで、又、盲人用品や、手足の不自由な方のための物、その他、誰が使ってもこれは便利と云える物等、豊富に揃っており、レンタルもいたします。

患者、家族からの相談も受け付けており、支部で対応できない分に

については、本部との連携の窓口にもなりますので、気軽に事務所へどうぞ……。

開所して4ヶ月が経ちますが、病院で事務所の事を知ったと言って来所した方や、保健婦さんから聞いたと、難病連の会員以外の方の訪問者も多く、毎日それなりの忙しさで、福祉機器の利用者も徐々に増えております。

福祉機器の売上金額に応じ、支部へ還元金が入ります。

この還元金は、支部の重要な活動資金となりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

事務所は、午前10時～午後4時まで（土曜日は午後2時まで、日曜・祝日は休み）役員が交替で 詰めております。

ここは、皆さんの事務所です。一度、足をばこんでみませんか。お待ちしております。



財団法人北海道難病連十勝支部事務所

介護用品、福祉機器のショールーム ふれあい帯広

—— の利用状況 ——

(利用件数)

	訪問	電話
11月	17	4
12月	21	12
1月	12	7
2月	18	11
合計	68	34

(相談)

相談件数14	
福祉機器の相談	4
病気に関しての相談	2
部会への問い合わせ	3
福祉制度の利用に関して	3
その他	2

※ 利用は、ショールーム見学、福祉機器、介護用品の購入、医療、生活に関する相談、部会での活用などが主です。

(売上状況)

	金額 (税別)
11月	49,900円
12月	45,205円
1月	119,100円
2月	100,400円
合計	314,605円

5月頃には、もう少し詳しい  
内容でご報告できると思いま  
す。ふれあい帯広の輪が広が  
るよう、お知り合いへ

ぜひ、お声をかけて下さい!!



- 昨年、12月28日だったと思います。突然、めまいを経験し、不馴れの土地で、病院の選択に困りました。たまたま、芽室町の会で頂いた支部長の名刺を頼りに電話した所、ボランティア

の女性のほうが、ていねいに応じて頂きました。

調査の上、折り返しお電話を頂き、指示された病院へ行きまして一応年末を越し、ホッと一息つきました。

その時の適切な処置に感謝し、とりあえず御礼を申し上げます。  
ありがとうございました。 (お便りより)

相談に関する助言は、難病連本部の専門の相談員から受けています。  
いろいろな相談にご利用下さい。

- 事務所の営業時間を長くしてほしい。
- 看板が目立たない。
- 事務所ですぐに商品を受け取りたい。

ショールームのため、商品を見て注文をしていただきます。お急ぎの場合は、展示品をお持ちいただくか、早急に取り寄せています。通常は、一週間分を火曜日に注文し、水曜日に、本部より発送という体制です。

# 難病に負けない社会復帰で

塚本義彦さん紹介



＝ 報告 十勝地方腎友会 佐藤 武夫 ＝

十勝地方腎友会会員、塚本義彦君（30才）がめでたく結婚致しました。

塚本君は、昭和56年10月透析開始し、10年余り経過し元気で通院しております。

帯広第一病院で、透析患者として通院しているときに、看護婦さんとして勤務していた彼女、てるみさんとの出会いが、始まったのです。

二人の心が一致し昨年6月17日、吉日に結婚とあいなり、祝賀の宴が盛大に行われました。

彼の通院は、月水金と週3回、午後の部4時間、透析をしています。

塚本君は、幕別町千住、野菜畑作農家として、広大な畑作で、秋大根の収穫が有名で、真夏の暑い日でも、彼の一生懸命、畑作に出掛けている姿は透析患者としてのお手本でしょう。

透析がないとき、時間の許すかぎり、夏には、畑作に精を出し、畑作が終わると、冬期間には、自宅から新得町へ70kmもある喫茶店へと勤めているのです。

塚本君は、透析患者として、身体に打ち勝ち、普通の人と変わらない生活が出来る事に、私たちも、難病に負けない社会復帰に

頑張っていきたいものです。

前回、機関紙に紹介されました彼は、平成元年、8月から9月にかけて、東北、関東方面にバイクで一人旅行する元気な塚本君です。

彼の、家族構成は、お父さん、お母さん、奥さんとなられた、てるみさん、義彦君の4人家族です。

今年3月には、義彦君と、てるみさんとの間に、可愛い赤ちゃんが、誕生する予定です。

一段と、賑やかに明るい、よい家庭になることでしょう。



## ＝ 各部会の活動状況. 報告 ＝

### 膠原病友の会帯広地区

// 山本和子 //

5月11日 ㊦ 2年度、初の交流会で、お花見を兼ねて11名の出席者にてスタート致しました。

2年度の活動内容細部の話し合い等で、あとは鍋をつつきながら、楽しい一時を過しました。

7月11日 ㊦ 6名の出席者にて食事を共にしながら少人数なりの親睦会だったと思います。

10月11日 ㊦ 2名の保健婦さんにご協力を頂き、念願の保健婦さんを交えての交流会を持つことができました。

13名の会員と共に話し合い、特に若い方々には、ドクターには話せない様な事でも話し合っていたみたいで、まづは成果があったのではと思っております。

12月12日 ㊦ 11名の出席者にて、忘年会を兼ねての食事やゲーム等を、2,3行い楽しい一時を過しました。

2年度の活動として3月にもう一度食事を共にしながら「ミニ便り」2号を参考にしながら、次年度へむけたいと思います。

会員の中には多趣味の方がいまして、今回の「ミニ便り」には似顔絵で会員の皆様を紹介下さるそうで、ユニークな便りになりそうです。

今年度は6名の会員が体調をくずし再入院、現在まだ一人入院中で不振な年であったので、次年度は再入院の方がいない年であってほしいと念じております。

# 心臓病の子供を守る会♡心友会

// 浅水 夷美子 //

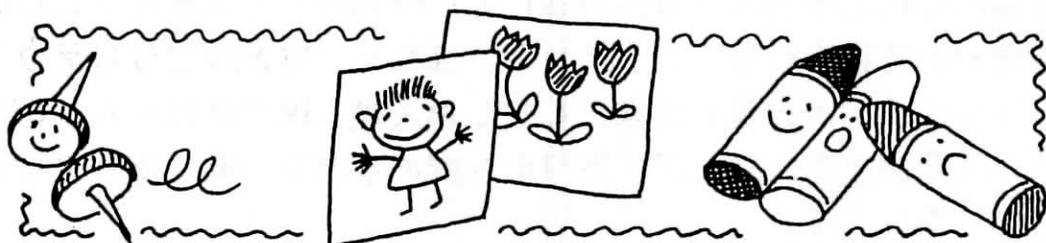
—— 帯広ブロックより昨年1年間の経過として ——

5月13日 北海道支部結成総会が、札幌の難病センターで行なわれました。(函館、釧路、札幌を1つにする)  
帯広もブロックの一つになりました。

10月14日 第28回、全国総会が、札幌の道庁別館で開催、全国、37支部、約300名が集いました。  
その中で、患者の訴えとして、帯広の竹内さんが、「心筋症と闘う日々」と題して発言されました。  
午後からは、心臓病児の医療、学校生活、移殖、福祉まで、四つの分科会が開催、患者や家族の熱い思いが、会場内にあふれていました。

※ 十勝では、まだまだこれからですが、多くの先輩達につづき、今年こそは 少しづつでも、患者や家族同志、お互いを励まし、助け合うため、交流を向けたいと思っています。  
会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

( 昨年は、帯広で交流会向けなくて、ゴメンナサイ!! )



## 小鳩会 帯広分会

// 渡辺 祐子 //

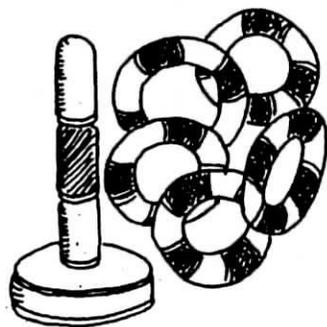
小鳩会帯広分会では、一年間いろいろやっています。  
5月の例会で始まり、7月の親ぼく会は、動物園に行ってきました。

8月の松村先生のリズム、実技指導、これには、保母さんや、学校の先生達が、子供達と一緒に、勉強していただき、ありがとうございました。

10月、ボーリング大会、日頃運動不足のお母さん達の珍プレーの続出には大笑いの大会でした。

11月末には、一足早いクリスマス会ですが、折り紙で作ったかざりを付けた大きいツリーが出来上り、クリスマスソングにのって踊る子供達の姿は晴れやかなものがあります。

しかしながら、会員の年齢差がだんだん広がり、会合、レクレーション等にも、支障が出るなどの問題点は、いろいろあります。前向きに明るく過ごして行きたいと思います。



~ 9' ~ (後日追加のため P9'おまけページとします)

## 二分脊椎症児(者)を守る会

// 加藤 富江 //

会員の皆様お元気ですか。

今年は暖かい年でありましたが、年が明けてから大雪が降ったりで大変ですが、お体などに気をつけて下さい。

あまり行事をおこなっていないのですが、1月に4家族で、会の良き相談に乗って下さる整形外科の先生、門司先生に会いに、札幌まで行って来ました。

病院とちがって宿泊先の難病センターに来ていただいて、ふだん、聞けないことまで相談に乗っていただきました。

とても良い一日でした。

※ 3月31日、難病センターにて、二分脊椎総会があります、ぜひ出席して下さい。

※ 事務所には、(加藤は)木曜日出ています。遊びに来て下さい。お待ちしております。

## その他の部会

その他にも、十勝地方腎友会、肝炎友の会、てんかん協会、ベータベット病、リウマチ、パーキンソン病、あすなろ会、筋無力症、後縦靭帯骨化症、脊髄小脳変性症、の会での、さまざまな状況の中での、活発な活動がさかっています。

これからも、各部会との連絡をとり合い、また会のない方々は、交流会等で、情報交換しながら、よりよい患者会活動ができますことを願っています。

# J P C 全国大会に参加して

菅原貞助

全国交流会90が、神戸市しあわせ村の研修館で11月17、18日の両日開催されました。

現在の自分の病状・体調を考え、果たして此のような大きな会合に出席・参加出来るだろうかという不安と、一面において種々の難病患者同志が、今自分のかかえている悩みや要望、問題点等、少しでも視野を広め、地域の方々と共に手を取り合い、明るく生きて行きたいという思いから、参加させていただきました。

いろいろと御配慮下さいました、道難病連役職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

11月16日午前11時30分千歳発・大阪行き直行便にて大阪空港着三の宮を経てしあわせ村に入りました。

外観の建造物を見ても 異国風調がらみで、いかにも平和で幸福そうに感じましたが、中に入ると患者主体の直取りが取られ、車イス・介護者の方々も容易にらくらくと通過出来る様に工夫されておりました。又、リハビリ用の機具をはじめ、その他多数の医療用機具が配列されており注目されました。

一步外に出れば芝生と共に、日本式庭園があり広大な面積の中に小川のせせらぎが聞え、山・河の石・<sup>かばく</sup>灌木・巨木等をうまく配置しており、広葉樹の落葉も見られぬ中で、若い男女或るいは老(オールド)の男女が互いに相手の身をいたわりつつ、散在するのどか

な風景が見られます。

暢気にそんな行動を見て室内に帰って見れば、伊藤事務局長はじめ全国の役員さんが、午後より明日にかけて使う印刷物の整理準備等に追われており、地元の大阪府・兵庫県連の皆さんはじめ、全国の役員の方々は大変なご苦勞をされている事を改めて感じました。

全国大会の内容については、JPC（日本患者・家族団体協議会）の仲間NO28に詳細に掲載されておきますので、省略させていただきます。是非ご購入下さい（1部300円、年間1,500円）

2日間にわたる全国交流会も盛会裡に無事終わりましたが、各分散会とも時間が足りないため、十分な意見発表もできず、誠に残念であったと思います。

私も第6分散会に配置され、体験発表させていただく機会を得ましたが、特別講演をされた児島美都子先生、元和歌山県会議長の林正典氏も出席され、発表者の方々のメモを熱心に執られ、貴重な助言も賜われました。

幸い天候にも恵まれ全日程を恙なく終了、お互い健康と再会を誓いあう何時もの風景が見られ頼もしい限りでした。

道中、伊藤事務局長以下の本部の方々、見知り合いのないうちの方々の温かい手を伸ばして下さった。

皆様に、止めどなく出る涙を拭ぐいつつの旅行でした。

誠に拙交ですが、以上申し上げ御報告と致します。

# 『人間として生きることの尊厳』を テーマに…



《看護学院ゼミナール講義報告》

心臓病児者部会 竹内 淑子

1月25日、帯広高等看護学院の1学年にテーマは「人間として 生きることの尊厳」、題のみで考えると頭がパニックを起こしそうなゼミナールを昨年に続き、2度目の依頼で、患者サイドの体験談を話して欲しいとのこと。

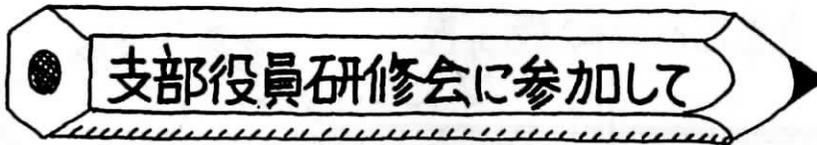
病歴は20年におよび、入退院の繰り返しの上、確実な治療法も未だに見つからず、病院のスタッフとも暗中模索中の私の話しが役に立つだろうか・・・昨年と同様に今年も悩む。

講演当日、体調は良いとは言えなかったので、100分間無事に話し終えられるように祈りました。口渇ひどく水を飲み飲み話しをする。未来の看護婦達の瞳は輝いていた。

主に'87年から札幌の病院に1年8ヶ月間入院していた時の生活の体験談を話す。長い闘病生活を送るには肉体面のケアよりも精神面のケアが大きいことを語り、私は、病院だけが治療の場ではなく、生きる為に、人間らしく生きられるように患者と医療者側が共に話し合いながら歩めるよう、また、患者会運動を通じて人とのつながり、ボランティア活動などの必要性を話しました。

講演を終えて数日後、学生さんから感想文が送られてきました。その中に「障害を持った人達を同情の目で見ること無く、生きる喜びとは何かを感じ、苦しみや辛さを受け入れて関わっていき、多くの人から学んでいきます」と書かれていました。2～3年後には立派な看護婦として働いていることでしょう。

私のお話が生きている患者の声として少しでもお役に立てたならば、幸いです。そしてもっと多くの患者さんの声を聞いて欲しいものです。



あすなろ会

成田 愛子

- 1991. 2.16(土)~2.17(日)
  - 美瑛町白金観光ホテル にて
  - 美瑛支部(10名), 旭川支部(15名), 北見支部(5名)  
音更支部準備会(3名), 十勝支部(7名)
- 講師 本部(伊藤事務局長), 日赤旭川病院(大阪MSW)  
美瑛保健所(山崎保健婦), 以上43名の参加。

帯広は15日夕方から雪が降り、積りそうです。

1月18日の大雪の事があったので心配です。

朝、起きると積っていました。でもバスは時間通り発車。

旭川に着くと、旭川支部の滝田さんが、お迎えに来ていました。

ホテルのバスにて、美瑛白金ホテルへ。14:05到着。

さっそく研修会、本当言って疲れています。

日赤旭川病院の大阪ソーシャルワーカーによる講演。

医療ソーシャルワークとは、どういうものなのか、歴史、目的、その活動内容、その他、詳しくソーシャルワーカーの患者への援助の教々を聞くことが出来ました。

私達患者にとって、たのもしく、大切なお仕事をされていることが良く分り、もっと各病院にワーカーが増えることを祈ります。

引き続き、16時20分からは、北海道難病連伊藤事務局長の講演。  
チームを作り、寝返りのさせ方、起し方、立たせ方など、楽しく  
実技をしました。疲れがほぐれて来ました。

18時からは懇親会。

盛りだくさんのごちそうと、お酒で、くつろいだ後、伊藤事務局  
長が、ゲームのいろいろ、身体が不自由でも出来るゲームなどを  
教えて下さり、とても参考になりました。

### 🌀 同じ動作をするゲーム

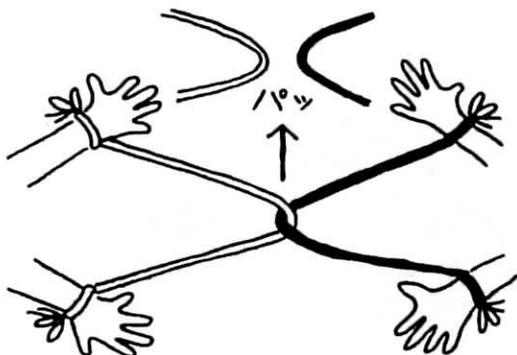
藤田さん(膠原病)が挑戦。伊藤さんのいくつかの動作と同じ  
まねをしました。次はビールを一気飲み。これは十勝支部の、  
得意とする分野、グイグイと伊藤さんと同じく、みごとクリア  
しました。しかし伊藤さんの口の中にはビールがあったのです。  
そのビールはコップへと戻りましたが、藤田さんのビールは胃  
の中でした。(それはないよ、伊藤さん....)

研修で学んだことは、帰ってから復習することが大切です。  
真面目な十勝支部です。

ビールはもったいないので、まずは水...

しかし、これは、志村ケンか、伊藤さんにしか出来ません!!

### 🌀 輪ぬけゲーム



- 手首のヒモをほどかずに輪をはづします。
- 車イスの方でも取れます(ヒト) みなさんは取れますか？
- 取ることが出来た方は支部事務局までご連絡下さい。

その他、たくさんの楽しいゲーム、交流で、わきあいあいでお話はずみしました。

交流会から戻り、私はお風呂に入り寝たのですが、同室の2人に迷惑をかけました。

グースカ往復だったそうです、おゆるし下さい。

第2日目の研修は、伊藤たてお事務局長による講演、難病問題、社会保障の問題、市町村での福祉のあり方、そして「患者、家族の作り方、進め方」のお話がありました。

医療の主人公は患者であることや、患者、家族が生きていくために必要なものがかけているとき、おぎなう協力をするのが患者会であること、など、多くの事を学ぶことができました。

この手引き書は、何度も読む事で自分達の活動を良くできるように一人一人が理解し、努力しなければと思いました。

2日間の研修を、これからの十勝の患者会活動に役立てられる様にと思いました。

美瑛支部の皆様、講師の方々、各支部の皆様に大変お世話になり、良い研修を終えることができました。楽しかったです。



## フランスベット展示会参加報告

この度、はじめて、福祉機器のあっせん事業を提携しております、フランスベットメディカルサービス社のご厚志により、展示会に参加させていただきました。

難病連の招待状をご持参の方が、もしお買い上げいただければ、支部の資金とさせていただきますというものです。

高額の招待状(来場の方の記念品代)を支部で購入して、配布するため、還元金で、招待状代が支払えるだろうか... お買い上げいただける方がいるだろうか..... 少ない部数で、いかに実績を上げられるだろうか... と、不安な気持ち、負担がかからないようにという、フランスベット社、本部のご配慮にあまえながらの取り組みでした。

数日前より招待者のリストアップ、4~5日前に配布、前日には、再度お知らせ、来場のおさそい、などをしました。

当日、2月21、22日を迎え、鬼いもよらない、支部への還元をいただける結果となりました。

病院の先生、看護婦さん、保健婦さん、役員、役員の家族、知人、たくさんの方々にご協力を頂きました。

展示会には、ベット、羽布団、時計、アクセサリー、家具、バック、きもの、毛皮など、すばらしい品々がそろい、満足のいく物ばかりです。

良い物をと、ご予算している方がお近くにいらっしゃいましたら、来年2月の展示会をご利用下さるよう、お声をかけて、いただけたらと思います。

( 荒尾 )

# 音更準備会より

## 音更準備会の一年

音更準備会 事務局長 穀内 さかえ

準備会として発足してから、一年が過ぎました。

難病連の活動が、身近に感じられるよう願って、カメの歩みのごとくですが、行動をしてきました。

活動内容としては、昨年1月に発足して、4月には菅原世話人代表が、JPC（日本患者・家族団体協議会）の署名を携えて、難病連北海道代表団の一員として国会陳上に行き、国会議員の方々に難病に苦しむ私達の、生の声を届けてきました。

6月には、北海道難病連の伊藤事務局を招いて、「患者会とは・患者運動とは何か」についてのお話と懇談会を開催、7月には札幌での難病患者・障害者と家族の全道集会に準備会として取り組み、貸切りバスで一泊二日の旅をしてきました。

9月には、町社会福祉大会の実行委員会に参加させて頂き、体験発表や、JPC署名運動、不用品バザーを通じて、広く町民の方々にも、難病や難病連をアピールする機会を得る事ができました。懇談とゲームをしたり、合唱団の方々と歌ったりして楽しみました。

一連の行事の合間に、できるだけ会員さん宅や、未加入の患者さん宅を訪問したり、花火、メ飾りの販売や、JPC署名集め、行政と保健所とのつながりをもってきました。

又、多々ある社会資源（ケースワーカー・十勝支部・ボランティア・視覚リハ協会等）を活動させて頂き、ここまで何とか準備会を継続させることができました。

今後まだまだ少しずつですが楽しみながら、又いろんな知識も得られるような患者会を、皆さんと共に作っていきたいと思います。



# 事務局より

⑧ リサイクルバザー商品・ご寄付 いただきました

服部賢一様	池端 亮 様	小柳昭子 様	帯広保健所
山根静子 様	藤田浩子 様	富原洋子 様	秋山 様
荒尾正子 様	曽根大喜 様	沢谷笑美子様	
伊藤 稔 様	横田静子 様	帯広友の会 様	

⑧ 国会請願署名・募金 ご協力いただきました

山田林業(株) 様	帯広大谷短期大学	上士幌町農協
ホテル プリティ 様	神谷由紀 様	石川加鶴子 様
十勝毎日新聞社	十勝勤労者医療協会	緑ヶ丘病院
平沼様	吉森 様	富原 様
御一同様		御一同様

⑧ 募金箱 設置させていただいております

十勝池田農協 様	お茶のふじ(ショッピングセンターいちまる店) 様
敏(スタックバー) 様	十勝勤労者医療協会 様
(有) ニとぶき 様	大空マーケット 様
かぜ(喫茶店) 様	帯広市民生協 緑西店 様
	帯広市民生協 北店 様

⑧ 事務所開設にあたりお祝いをいただきました

松原信一様	野々村朋寿年様	フランスベストメディカルサービス社様
北海道視覚障害リハビリテーション協会様	十勝勤医協・理事長様	
池田保健所様	帯広保健所様	新得保健所様
新晃商会様		
広尾保健所様	肝炎の会・佐藤様	ムトウ(株) 帯広支店 様
帯広医師会様	十勝医師会様	第一病院様
		塚本帯雄 様

ありがとうございました

# ショールームにはこんな便利なものがあります。

## ●ビーズマットのご使用例



### ビーズマットA型

68381400 3,800円

〈仕様〉 サイズ：約65×50cm  
 素材：綿35%、ポリエステル65%  
 中身：ポリスチレン100%  
 カラー：ブルー

### ビーズソフトマット1023

68388161 8,200円

〈仕様〉 サイズ：67×54cm  
 素材：ポリエステルと綿の混紡  
 中身：ポリエチレンビーズ  
 カラー：グリーン、ブルー

## ●ビーズドーナツパッドのご使用例



### ビーズドーナツパッド

68380510 S 1,200円  
 68380520 M 1,500円  
 68380530 L 1,800円

〈仕様〉  
 サイズ：S/全長45×全高約5cm M/全長55×全高約6cm L/全長約65×全高7cm 特大/全長87×全高8cm  
 素材：側地/ナイロンバイル100% 中身/ポリスチレン100%

## お肌の汚れふき ウェットクリーン

●よもぎエキス配合の  
 清浄液をしみ込ませた「お肌の汚れふき」。  
 袋から出してさっと  
 使えます。

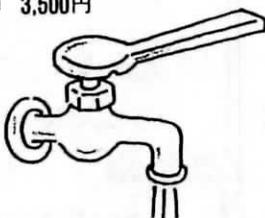
68388226 780円(30包入り)



## 栓まわし/木製 R-5170

●十字型の栓をはめ込んで、カン  
 タンに回せます。木製です。

68388101 3,500円



## ●スプーンホルダー

●スプーンやフォークを簡単に使え  
 る補助用具です。  
 ●着脱が簡単です。  
 ●スタンダードタイプです。

R-4720(大人用) 68388237 1,500円  
 R-4721(子供用) 68388238 1,500円



## グラスホルダー R-4710

●コップを握ることのできない方に。  
 手を差し込んで使用できます。  
 ●感覚マヒの方にも便利です。

68388229 1,700円



他にも「これは便利」  
 というアイデア品  
 がたくさんあるよ。

# お知らせ



難病連ギフトプラザ 贈答館を

ご利用下さい !!



★ 入進学シーズンとなりました。(就職、誕生、結婚、退院などにも)

★ 豊富な品々を、割引価格でお届けします。

★ お買上1万円以上は、配達無料です

★ 益金の一部が寄付され活動資金として利用されます

カタログ、ご希望の方は、事務所まで

※ お待ちしています ※

帯広市西5条南13丁目、TEL 23-6602 (担当 荒尾)



安定した財源作りのために  
北海道難病連の

協力会員に



★ 年会費1口、2,000円です。貴重な財源確保のためには  
会員が1万人必要です。2分の1が支部収入になります。



十勝支部事務所、福祉機器のご利用を



事務所を開設し、多くの方々との出会いの中で、患者、  
家族の現実を、肌で感じています。微力ではありますが  
精一杯の活動をとっています。

まだまだ不慣れですが、事務所内は、とにかく明るく、  
元気です。いつでも気軽にお立ち寄り下さい。



お帰りになった後は、小ジワ防止のパック必要 !! ...

# 書籍のお知らせ



- リウマチ教室 (¥1,010)
- 膠原病教室 (¥1,010)
- 生活保護手帳 (¥2,000)
- 医療福祉相談ガイド (¥12,360)
- 身体障害認定基準 (¥11,400)
- 障害年金と診断書 (¥730)
- 患者運動にむかいて (¥500)
- 私のスウェーデンびいき (¥1,442)
- 輝きはばたいて (¥1,200)
- ゆとりの老後 (¥4,800)
- ホームケア百科 (¥3,800)
- 難病必携 (¥4,944)
- 難病辞典 (¥3,500)
- 患者、家族会のつくり方と進め方 (¥1,600)
- その他

十勝支部で扱っております。 TEL 23-6602まで  
どーぞお?

## 〈難病連十勝支部事務所〉

帯広市西5条南13丁目  
TEL (0155) 23-6602

月～金、午前10時～午後4時  
土、午前10時～午後2時  
日祝日、休み

なんれん  
は  
(赤い羽根)

共同募金

の配分を受けています。

HSK なんれん 臨時号

編集人/財団法人 北海道難病連 伊藤 たてお

札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011-512-3233

道十勝支部  
江口 英生男 0155-23-6602

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

1991年3月10日発行HSK通巻227号 (毎月1回10日発行)

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原 義郎  
札幌市北区北13条西1丁目